

みやぎのだより

No. 72

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成25年1月31日



婦人部栗原支部しめ縄つくり

CONTENTS

新年の挨拶(組合長)	1	牛乳乳製品利用料理コンクール開催される	8
新年の挨拶(専務)	2	搾乳体験 in 仙台市収穫まつり	8
輸入粗飼料情勢について	3	New face ~新人紹介~	9
平成24年度生乳需給状況について	5	受精卵子牛市場情報	9
第8回酪農フレンズパーティー開催される	6	組合員資格に変動がある場合の届出のお知らせ	9
旅行会事業実施される	6	理事会通信	10
平成24年度秋季酪農研修会開催される	6	業務報告(11月～12月分)	10
TPP反対緊急集会開催される	7	編集後記	11
TPP交渉参加反対宮城県民集会開催される	7		

新年の挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

濱田 茂



新年おめでとうございます。

組合員の皆様には、夢と希望に満ちた新年を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、組合事業運営に対しまして格別なるご理解とご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

東日本大震災から、2度目の正月を迎えたが、いまだ復旧復興の道半ばであり、仮設住宅での生活などで不自由な生活を余儀なくされている皆様が一刻も早く元通りの生活に戻ることができますよう、国や県をはじめとする復興計画の早期執行を求めるものであります。

国内経済も欧州の財政危機等から円高や株安、デフレによる景気低迷が大きく響き雇用も含め回復の兆しも見えていない現状であります。一方、我が国の農業や生活の崩壊につながりかねない、TPP交渉参加問題も予断を許さない状況であります。11月の衆議院の解散に伴って年末総選挙が実地され、自民党が圧勝し、政権が再び3年前の解散の時と全く逆の結果となったことは、前政権がマニフェストに掲げた政策に乖離があったことが要因と思料され、新しい政権には農業政策を真剣に取り組んでくれることを期待するものです。

原発事故問題では、被害が質的に深さを増す中で、牧草の放射能汚染による給与自肅より汚染牧草問題の長期化、土地利用型経営を展開する酪農家の生産基盤の根底を揺るがし、生乳・乳製品の生産や流通・消費に深刻な影響を与えており、安全安心を確保するため、国の基準とルールに基づく検査を通して基準をクリアした安全な生乳だけを原料に、安全な牛乳・乳製品の製造供給が行われているが、依然として十分な消費者の理解と信頼を得られない状況にあります。

一方、配合飼料生産資材等の高値は、今後も続く傾向にあり、高齢化・後継者不足による酪農家戸数の減少等の厳しい情勢にあります。

このような厳しい情勢を踏まえ、当組合では、放射性物質汚染牧草地の除染作業を円滑に進めるために、組合員が除染にかかる資材費（種子、肥料、改良剤及び除草剤）実費額の支払い、自力施工にかかる油燃費の定額支払い及び委託施工にかかる作業料の2分の1相当を支払う、という三本立ての「牧草地土壤除染円滑化支援事業」を企画し、東京電力から損害賠償金の支払いが行われるまでの間、その経費の一部を立て替え払いをすることで、利用自肅された牧草地の除染作業を円滑に推進し、もって酪農経営の安定を支援することとしております。

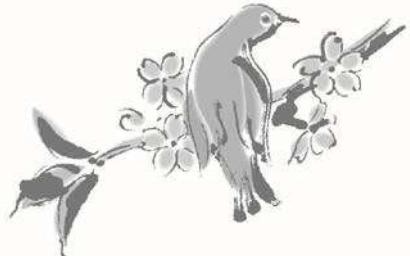
今後も引き続き、組合経営の健全性及び信頼性を確保するため、財務基盤の強化、事業の効率化を進めながら役職員一丸となって組合員皆様の利益向上を基本に、将来ともに酪農に希望が持て生産意欲に満ちた酪農経営の推進に努める所存でありますので、今後なお一層ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に平成25年が組合員皆様にとって限りない幸せと健やかな毎日でありますよう、心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



みやぎの酪農業協同組合
代表理事専務

佐藤 孝雄



謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

皆様にはご家族お揃いで新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

組合運営につきまして、日頃よりご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

東日本大震災の発生から1年10ヶ月が経過しましたが被災地の復旧復興にはほど遠い状況が続いております。とりわけ一次産業は原発事故によって起きた放射能の飛散による風評被害や農地の除染作業で大変な苦労を強いられる日々が続いております。

又、昨年は、国内では冬の寒波、夏の猛暑による、とうもろこしの不作で穀物相場が急騰し、配合飼料が大幅値上げになりました。昨今の為替相場の下落と相まって今後の飼料価格の値上がりが懸念されます。

昨年末の総選挙で自民党が圧勝し、3年3ヶ月振りに政権が交代しました。国政や農政がどう変化していくか注視しなければなりません。

私達の将来がより良い方向に進むよう酪政連活動を通じて反TPPや酪農振興施策の要望を発信していくかなければなりません。

今年も組合の最大の課題は、草地除染の推進と代替粗飼料の安定供給を図り、消費者に安全安心の牛乳を届ける事がひいては我々酪農家の為にも最良の道と考えます。

東京電力に対する損害賠償請求について、早期の100%支払を求めて粘り強く働きかけて参ります。

農家が困っている汚染ロール牧草の処分についても県内的一部自治体が動き出したのを手本に全県下で解決するよう行政の指導協力を得て進めなければならないと考えています。

4月より東北生販統一の乳質規制がスタートします。これは他の5県はすでに24年4月から実地しております。宮城県のみが放射能の影響による滞留牛の問題がクローズアップされた事から、県内3団体が協議して一年間実地を先送りした経緯があります。したがって4月1日のスタートは既定路線となっておりました。この対策について組合としても各種の指導会、学習会等を行い、皆様のリスクが低減するよう対応して参ります。

今年も難問山積の年明けですが役職員一丸となり組合員の為の組合として頑張って参ります。

皆様にとって、最良の一年となるようお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。

輸入粗飼料情勢

北米コンテナ情勢

11月下旬よりロサンゼルスの港で8日間のストライキが実施されコンテナ輸出の遅れが発生しましたが、徐々に遅れも回復してきており1月は概ね予定通りの搬出に回復しております。10月より延期されていた北米東海岸の港湾作業員によるストライキは更に2月上旬まで延期されました。但し、西海岸からの輸出量が増えることによるコンジェスチョン・チャージ(荷物の混雑に対するチャージ料)は東海岸の協議の状況次第では導入される可能性は含んでおります。

また、1月からWTSA加盟の船会社より、BAF(燃料費調整係数、燃料価格変動に対し調整される割り増し)の発表とGRI(基礎レート)の値上げが実施されております。

①ビートパルプ(US産)

産地では製糖作業が行われており、ビートパルプの生産は春先まで続く予想です、作柄もよく単収は例年並みと見込まれております。

穀物相場の高騰や、米国内、日本、欧州からの引き合いが強く、また、11年産の在庫も無いことから引き続き高値で推移すると予想されます。

②アルファルファ

(ワシントン産)

1番刈り2番刈りとも5~6割の雨あたり品となりプレミアム品は殆んど無い状況ですが、UAE向けは安定した需要がある模様です。

(カリフォルニア産)

こちらの産地も米国内はもとより、UAE、中国、日本、韓国からの引き合いが強まり、13年産の作付面積は一部増えると予想されております。

2011年まで、米国産アルファルファの輸出量は日本がトップを維持していましたが、2012年は中東のUAEがトップとなり日本は2位となりました。また、生産効率の向上からビッグベール形態での収穫が来年以降も更に増えることが確実視され、日本向けの3タイは減少することが懸念されます。

③チモシー

(US産)

一番刈りは5~6割が雨あたり被害を受けました。通常の酪農向けのグレードは馬向けとなり品物の確保が厳しく、また、このような状況から2番刈りも強い引き合いとなり価格は堅調に推移し、特にプレミアム品は非常に高価な物となっている状況です。

近年、チモシーの需要が多く価格も高く売れる事から、産地では儲かる農産物と称し定着しつつあり、13年産のチモシーの作付面積は増えると予想されております。

(カナダ産)

レスブリッジ、ドライランドとともに1番刈りは収穫時の降雨被害からハイグレードは殆んど無く、US産の状況から中間グレードを含めても確保は困難な状況で価格は堅調に推移しており、US産同様にプレミアム品は非常に高価な物となっております。

産地では菜種などの穀物も作付されており、穀物相場により13年産のチモシーの作付面積は変動すると予想されます。

④スターデングラス

(インペリアルバレー産)

ハイグレード品の種子の不足、7、8月の豪雨による被害を受け中間グレード以下においても収穫量は予想より大きく減少しました。雨あたり品についてもUAEからの引き合いがあった模様で、価格も高騰し続けました。

資材等は高騰しておりますが、近年順調な需要を受け、チモシー同様に儲かる農産物として定着しつつ13年産作付面積は増えると予想されております。

⑤豪州産オーツヘイ

(西豪州産)

こちらの地区では、降雨被害はなく殆んどハイグレード品の作柄となっております、一昨年のかんばつ、昨年の降雨被害から作付面積が減っていることから、収量は例年より2～3割減少すると見込まれます。

(南豪州産)

こちらの地区も、西豪州同様に殆んどハイグレード品の作柄ですが、例年より2割程度の収量が減少しております。また、播種時期が遅れたことから雑草除去ができずライグラス等の雑草が混入しているスタックが一部ある模様です。

(東豪州産)

こちらも西、南同様に生産量は多少減少しましたが、殆んどハイグレード品の作柄です。収穫の遅い地域で一部雨あたりのローグレード品が発生しましたが、豪州国内での引き合いが強い模様です。

12年産の豪州産オーツヘイの作柄は良好ですが決して豊作と言える生産量ではなく、また、北米産の乾牧草の状況や、通貨の豪州ドルが欧米諸国に比べ安定している要因から、今後も価格は堅調に推移すると予想されます。

以上のように、為替相場の変動を含め厳しい状況の中でございますが、安定供給に努めてまいりますので、組合購買事業に、ご理解とご協力よろしくお願ひします。

配合飼料の基金積立金の変更について

(社)全国畜産配合飼料価格安定基金(畜産基金)は理事会並びに評議委員会で、また、商系基金は理事会を開催し補てん財源強化の為、積立金単価を引き上げることを決定しましたので、平成25年度より積立金単価が下記のように変更されますのでお知らせします。

畜産基金 1,800円／トン 内訳 生産者 600円 組 合 300円 全酪連 900円

商系基金 1,900円／トン 生産者 650円 メーカー 650円 積み増し 600円

平成24年度生乳需給状況について

販売課

1. 宮城県(販売乳量)

平成24年度4月～12月の販売実績は、前年比5.7%と増加しておりますが、昨年の9月以降に生乳生産が徐々に回復してきたこと也有り、11月・12月分で前年を下回って推移している状況です。また22年度4月～12月までの受託乳量98,133t、22年度対比△4.9%減少して推移しております。

平成24年度宮城県生乳受託販売実績

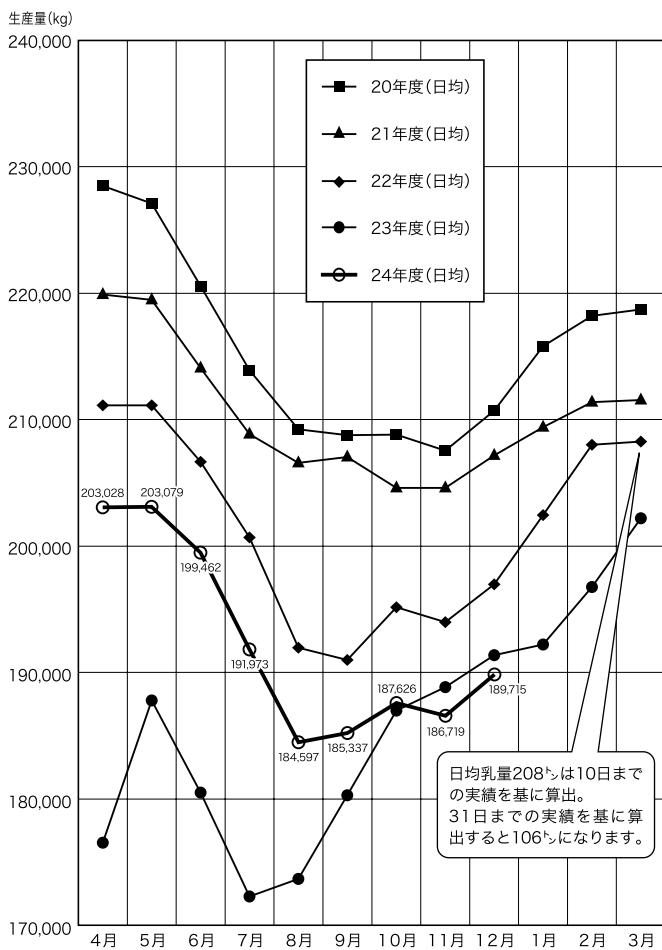
(単位: kg, %)

月 団体名	第1四半期	前年比	第2四半期	前年比	10月	前年比	11月	前年比	12月	前年比	4～12月計	前年比
みやぎの	18,344,952	110.6	17,218,990	107.4	5,823,284	101.0	5,574,422	98.1	5,834,542	99.3	52,796,190	105.7
全農宮城	5,243,800	112.9	4,830,113	106.7	1,610,286	96.0	1,545,796	93.4	1,587,863	92.3	14,817,858	104.2
宮城酪農	9,041,019	113.7	8,360,661	107.8	2,795,413	100.0	2,690,191	98.0	2,822,553	99.3	25,709,837	106.7
宮 城 県	32,629,771	111.8	30,409,764	107.4	10,228,983	99.9	9,810,409	97.3	10,244,958	98.1	93,323,885	105.7

2. みやぎの(バルク乳量)

平成24年度4月～12月の生産実績は、前年比5.7%増加。直近、12月の前年比99.13%、日均乳量190tで、前年より1t減少しております。また、12月における出荷戸数は353戸で前年同月比較で△13戸減少しております。

みやぎの酪農乳量(日均)



平成24年度生乳生産実績(4月～12月 標準進度率75.34%)

(単位: kg, %)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進度率
白石支部	25	5,291,887.6	4,982,956.9	106.20	7,358,533.0	71.91
七ヶ宿支部	7	1,597,622.3	1,444,184.2	110.62	2,123,015.0	75.25
蔵王支部	31	6,221,626.0	5,876,115.0	105.88	8,668,328.0	71.77
柴田支部	21	3,419,572.0	2,947,954.0	116.00	4,468,840.0	76.52
角田支部	7	1,765,832.0	2,322,493.8	76.03	3,133,799.0	56.35
丸森支部	14	2,320,980.0	2,082,370.0	111.46	3,079,007.0	75.38
仙台支部	12	2,848,171.0	2,682,603.0	106.17	3,995,777.0	71.28
名取支部	8	896,633.0	919,696.0	97.49	1,291,343.0	69.43
黒川支部	11	1,713,249.0	1,517,277.0	112.92	2,254,617.0	75.99
古川支部	21	2,623,136.0	2,625,706.0	99.90	3,974,853.0	65.99
遠田支部	22	4,125,547.0	4,179,963.0	98.70	5,491,251.0	75.13
加美支部	23	2,461,618.0	2,221,623.0	110.80	3,348,789.0	73.51
岩出山支部	7	434,724.0	429,465.0	101.22	579,237.0	75.05
鳴子支部	17	2,024,953.0	1,995,956.0	101.45	2,943,737.0	68.79
一迫支部	13	2,248,251.0	1,945,010.0	115.59	2,944,151.0	76.36
築館支部	19	2,175,278.0	1,923,493.0	113.09	2,882,715.0	75.46
瀬峰支部	12	1,276,524.0	1,138,844.0	112.09	1,690,596.0	75.51
迫支部	14	2,278,016.0	2,025,136.0	112.49	3,007,253.0	75.75
中田支部	10	1,053,822.0	1,075,992.0	97.94	1,574,818.0	66.92
東和支部	10	1,038,575.0	1,046,211.0	99.27	1,514,337.0	68.58
志津川支部	9	1,025,018.0	865,955.0	118.37	1,290,278.0	79.44
本吉支部	12	1,076,279.0	929,151.0	115.83	1,408,412.0	76.42
石巻支部	12	995,052.0	915,474.0	108.69	1,350,801.0	73.66
豊里支部	16	1,990,684.0	1,964,955.0	101.31	2,796,513.0	71.18
みやぎの酪農	353	52,903,049.9	50,058,583.9	105.68	73,171,000.0	72.30

※ 出荷戸数については、直近の数字です。

第8回酪農フレンズパーティー開催される

指導課

仙台勝山館のスカーレットプラザにおいて、12月2日(日)酪農家の独身男性と酪農に関心のある公募した一般の女性との、新たな出会いの場と交流の輪を広げて頂く「第8回酪農フレンズパーティー」を開催いたしました。

濱田組合長の挨拶の後、参集いただいた男性15名女性15名が、一人2分間づつ自己紹介を熱く語りました。限られた時間内で自己紹介が終わると、男性が女性の待つ次のテーブルに移り全ての女性と話し合いました。途中休憩の時間があり感想を聞いてみると、「時間が短い」という意見が出るほどで、皆さんの表情は活き活きとしていました。

自己紹介タイムが終わってビュッフェ＆トークタイムに入ると、テーブルを4つ程に寄せ合い、思い思いに語り合いながら昼食をとっていました。

グループで語り合う者、カップルで語り合う者、中にはアドレスを交換する方たちも見られ楽しい時間を過ごしました。

現在、酪農家にとって大変厳しい情勢が続いておりますが、後継者が酪農を続けていくためにも、素晴らしいパートナーと出会い、励みのある明るい将来を育んでいけるよう、新しいカップルが一組でも多く誕生することを願っております。



旅行会事業実施される

指導課

11月29日から4日間、平成24年度旅行会事業が実施されました。第8回目を迎えた今回は、台湾4日間の旅で、9名が参加しました。台北市内観光では、中正記念堂、龍山寺、總統府、忠烈祠、などの史跡を観光、ショッピングを楽しみました。また、鼎泰豊での小籠包、市内レストランでの石鍋料理、郷土料理、北京料理も楽しみ、山沿いの九份、海沿いの基隆・野柳そしてテレサテン墓地観光なども楽しみました。

旅行会は随時加入が出来、毎月10,000円の積立を行います。別途年会費は1,000円です。是非ご加入下さい。



平成24年度秋季酪農研修会開催される～東北酪農青年婦人会議～

指導課

11月13～14日、東北酪農青年婦人会議主催の秋季酪農研修会が岩手県盛岡市繫温泉「愛真館」において開催されました。当日は東北各地域より約60名余りが参加し、本組合からは7名の参加がありました。

今年は料理家・管理栄養士・フードコーディネーターの小山浩子氏に「ミルクを科学する～牛乳・乳製品の可能性と食品開発論～」と題して



講演していただきました。その後、火を使わなくても出来るレシピということで、とうもろこしのミルクポタージュスープ・モツァレラチーズと生ハムのくるくるサラダ・ベリーのクレームダンジェの3品を調理していただき、みんなで試食しました。

また、懇親会では岩手中央酪農協さんによる「さんさ踊り」が披露され、その後、参加者が宴会場を輪になって踊りました。毎年恒例ですが、大変有意義な行事でありますので、皆様の参加をお待ちしております。



TPP反対緊急集会開催される

日本酪農政治連盟宮城県支部連合会

日本酪政連(佐々木勲委員長)は11月15日、東京都内で常任・中央委員合同委員会を開き、東アジアサミットでのTPP参加表明を阻止する緊急要請を政府・国会に行いました。今回の東アジアサミットでは、野田佳彦首相は結果的に参加表明までは踏み込まなかつたものの、参加に向けて米国との事前協議を加速させるとしており、酪政連では他の農業団体等と連携しながら、油断せずに引き続き断固阻止する運動を継続します。

この日、常任・中央委員合同委員会と前後して、「11月東アジアサミットでのTPP交渉参加表明を阻止する超党派議員・国民集会」(TPPを考える国民会議主催)が憲政記念館において開催され、国会議員約120名(代理含)、一般参加者約800名が結集し、国民や国会議員に一切の情報が開示されないなかでは国民的議論を開始することもできず、交渉参加の是非を判断する状況ではないことは明白だとして「東アジアサミットでの参加表明に断固反対する」との決議が採択されました。

また、同日午後日本の畜産ネットワーク(事務局:中央畜産会、酪農畜産関係など102団体で構成)も同じ場所で、「TPP阻止畜産緊急要請集会」を開きました。全国から関係者約400人が参加。11月18日から開催している東アジアサミットだけでなく、その先も野田佳彦首相が「交渉参加表明」を絶対行わないよう求める特別決議が採択されました。

組合から佐藤専務が出席しております。



TPP交渉参加反対宮城県民集会開催される

日本酪農政治連盟宮城県支部連合会

平成24年12月10日(月)仙台市「東京エレクトロンホール宮城」大ホールで、TPPから食とくらし・いのちを守るネットワーク宮城主催による『TPP交渉参加反対宮城県民集会』が開催されました。約1,000人のネットワーク構成団体メンバーや一般市民等が参加し、ノンフィクション作家 関岡 英之 氏の講演「TPPの国民生活への影響」を聞いた後、各団体から意見表明があり、政



府がTPP交渉参加を断念す



るまで、ネットワーク組織の総力を挙げて徹底した運動を展開していくとした集会アピールを採択、閉会後参加者は横断幕やのぼりを手に仙台市青葉区商店街をデモ行進しました。組合からは、濱田組合長、佐藤専務、渡辺正志理事、伊藤正義理事、山内完二理事、芳村参事、飯塚課長が出席しております。

牛乳乳製品利用料理コンクール開催される

宮城県牛乳普及協会

11月8日(木)仙台市民会館において、平成24年度牛乳乳製品利用料理コンクール宮城県大会を開催いたしました。

家庭で手軽に作れる牛乳乳製品を使った料理を募集し、皆様に牛乳乳製品の良さをPRすることで消費拡大を図りました。

応募者数182名の中から、書類審査を通過した10名が競い合い、グランプリが決定いたしました。



最優秀賞には、仙台二華高等学校の大沼日奈子様の「あぶら麩の具だくさんチーズグラタン」に決まり、また優秀賞には、阿部久美様の「まんまる2色のクリーミーコロッケ」が選ばれ、牛乳乳製品の新しい魅力を引き出したメニューが選ばれました。

今回出場された方のレシピは、宮城県牛乳普及協会のホームページに掲載していますのでぜひご覧下さい。

URL <http://miyagi-milch.jp/>

搾乳体験 in 仙台市収穫まつり

宮城県牛乳普及協会

11月18日(日)仙台市農業園芸センターにおいて、第24回仙台市収穫まつりに参加し、消費拡大のためのパンフレットや牛乳の配布をしました。搾乳体験、哺乳体験、動物ふれあい体験は泉区根白石のハッピーファーム庄司牧場(庄司善信様)の協力をいただき実施いたしました。

人が飛ばされるくらいの強風の中、11時会場到着予定の動物を子供達が待ち、トラックから牛、ヒツジ、ヤギの鳴き声が聞こえると歓声が沸きました。

搾乳体験では、子供達も大人も自分の指で練習してから



乳搾りをしました。

なかなかお乳が出ない方や、一回で出る方と様々でしたが、「難しい」「おっぱいって温かかった」「貴重な体験をした」などの感想を聞くことができ、大いに盛り上がった1日となりました。

これからも、搾乳体験等を続け本物の牛との触れ合い、体験することで、牛乳乳製品に対する意識向上を図れるよう、なお一層の普及活動を行ってまいります。

New Face ~新人紹介~



小原 亜祐美

皆さん初めまして。6月1日より仙南支所総務係に配属となりました小原 亜祐美と申します。出身は宮城県村田町です。

私は酪農に携わったことが無く、高校は大河原商業高等学校の経理科、前職はサービス業、中古車関係と酪農に関してはまったくの素人です。また、総務の仕事にも携わったことが無く不安でいっぱいでした。

しかし、先輩方が優しく教えてくださるので不安も解消され、少しずつですが酪農のこと、総務の仕事のこと等勉強させていただいております。

まだまだ未熟ではありますが、少しでも早く組合員の方々に貢献できるよう頑張りますのでご指導の程よろしくお願ひ致します。

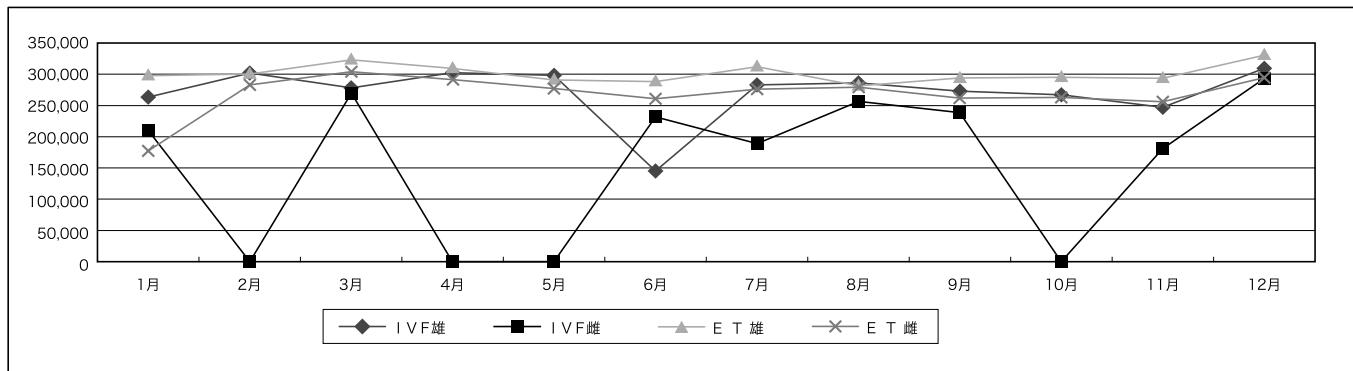
受精卵子牛市場情報

指導課

平成24年雌雄別平均価格推移(みやぎ総合家畜市場)

単位:円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
IVF雄	263,462	302,000	278,000	302,667	298,333	145,000	282,727	286,125	272,714	267,000	247,200	310,000
IVF雌	210,000	0	270,000	0	0	232,000	189,000	256,667	238,500	0	181,167	292,000
ET雄	298,000	300,250	323,100	309,222	290,727	288,300	312,111	281,444	294,111	295,118	293,714	332,143
ET雌	177,375	283,000	304,000	291,200	277,000	260,750	276,250	279,222	262,000	263,000	255,917	293,167



組合員資格に変動がある場合のお知らせ

総務課

平成23年度から農協法施行規則の改正により組合員資格の確認が追加されました。また、新たな監督指針が施行され適切に対応することが行政庁より求められています。

当組合は定款で定める組合員資格要件を満たしているかどうか、定期的に確認を行なっております。

氏名、住所、組合員たる資格の別に変更があった場合、管轄の本所及び支所、事業所までお申し出下さい。

理事会通信

總務課

理事会の開催状況及び付議事項についてお知らせします。

【第8回理事会】

開催日 平成24年11月29日

開催場所 組合本所会議室

付議事項	第1号議案	平成24年度上半期決算にかかる監事監査報告について
	第2号議案	職員の給与に関する規則の一部変更について
	第3号議案	定期賞与(12月期)の支給について

【第9回理事会】

開催日 平成24年12月13日

開催場所 ホテル松島大観荘

付議事項 第1号議案 理事との利益相反取引の承認について

第2号議案 (仮称)牧草地土壤除染田畠化支援事業の実施について

業務報告

總務課

- | | | |
|---------|--|-----|
| 11月 2 日 | (社)酪農ヘルパー全国協会ヒアリング | 東京 |
| 11月 3 日 | 第20回丸森町畜産共進会
宮城の畜産物フェア ~4日 | 丸森町 |
| 11月 5 日 | 畜特資金経営改善見直し指導
平成24年度Jミルク第2回酪農乳業セミナー | 仙台市 |
| 11月 6 日 | 蔵王酪農センター「エコフィード® TMRセンター」竣工式
宮城県東部家畜保畜担当者会議
平成24年度中央会議評議員会 ~7日
加美町利用自肅牧草の集積一時保管設置に係る説明会 | 三陸町 |
| 11月 7 日 | 東北生販第2回生乳受託販売委員会
酪農指導担当者会議 | 仙台市 |
| 11月 8 日 | 平成24年度牛乳乳製品料理コンクール宮城県大会
農林水産省大野畜産振興課長現地視察 | 仙台市 |
| 11月 9 日 | 第3回ミルクファーム蔵王経営検討委員会
全酪連会員担当者研修会
平成24年度大崎地区別年金委員研修会 | 仙台市 |
| 11月13日 | 平成24年度高病原性鳥インフルエンザ防疫演習
東北酪農青年婦人会議平成24年度秋季酪農研修会 ~14日 | 仙台市 |
| 11月14日 | 平成24年度生乳取扱者認定講習会 ~15日
平成24年度上期決算監査 ~16日
汚染牧草地におけるストーンクラッシャー工法実演会 | 仙台市 |
| 11月15日 | TPP反対緊急集会
全酪連仙台支所「購買・畜産・指導主任者会議」 ~16日 | 仙台市 |
| 11月16日 | 東電損害賠償担当課長・担当者会議 | 仙台市 |
| 11月17日 | 仙台市収穫まつり ~18日 | 仙台市 |
| 11月18日 | 仙台市収穫まつりイベント(乳しづり体験等) | 仙台市 |
| 11月19日 | 第37回JA宮城県大会 | 仙台市 |
| 11月20日 | MF蔵王経営検討会 | 仙台市 |
| 11月21日 | 総務委員会 | 仙台市 |
| 11月22日 | 東電原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会第16回総会 | 仙台市 |
| 11月23日 | 全日本ブラックアンドホワイトショウ | 仙台市 |

業務報告

総務課

11月26日	東和支部研修会	市
11月27日	平成24年度退職準備セミナー 粗飼料広域流通対策検討会 ~28日	市
	平成24年度地域自主防疫推進会議	道
11月28日	東北生販理事会 (財)畜産近代化リース協会業務推進事務打合せ会議	町
	平成24年度肉用子牛生産者補給金制度調査指導	市
11月29日	大崎地域自給飼料生産連携研究会移動研修会 第8回理事会	都
	平成24年度死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業会議	所
	旅行会研修旅行 ~12月2日	所
11月30日	東北生販第2回支所実務担当者会議 豊里支部研修会	市
12月2日	酪農後継者フレンズパーティー	市
12月3日	青年部役員会	市
	(株)ミルクファーム蔵王取締役会	所
12月4日	24年度自給飼料活用型TMRセンターに関する情報交換会 ~5日	市
12月5日	青年部石巻支部酪農研修会	都
	青年部仙台支部研修会	市
12月6日	気仙沼市本吉放牧場衛生検査報告会・放牧報告会 (社)全国畜産配合飼料価格基金安定基金臨時総会	市
	築館支部研修会	都
12月7日	婦人部栗原支部研修会	市
	平成24年度酪農ヘルパー事業優良事例発表大会	都
12月10日	一迫支部研修会	市
	TPPから食とくらし・いのちを守るネットワーク宮城・TPP集会	市
12月11日	瀬峰支部研修会	市
	東電原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会第17回総会	市
12月12日	JA教育担当部課長会議	市
	平成24年度生乳取扱者第2回認定委員会	市
	JAみやぎ中央会第4回活力ある職場づくり研究会	市
12月13日	第9回理事会	市
	お取引先・役職員合同懇談会 ~14日	市
12月14日	上原酪農組合研修会	県
12月17日	大崎地域自給飼料生産連携研究会先進地事例調査 ~18日	所
	DMS相談会	道
	粗飼料広域流通検討会 ~19日	市
	青年部栗原支部研修会	市
12月19日	第4回ミルクファーム蔵王経営検討委員会	都
	(社)酪農ヘルパー全国協会臨時総会	市
	高年齢雇用安定法の改正説明会	都
12月21日	平成25年度JA経営計画樹立研修会	市
	加美支部研修会	市
	日本酪農政治連盟常任・中央委員合同委員会	町
	青年部登米支部研修会	都
12月28日	仕事納め	市

[編集後記]

厳しい寒さが続き、例年以上にインフルエンザが猛威を振るっています。昨年末に政権が交代し、一ヶ月が経ちました。震災から約二年、沿岸部ではまだ復興にはほど遠いことを実感しやりきれない思いでしたが、新しくとも政権に小さな期待をしたいものです。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)